

## 質 疑 回 答 書

業務名：令和7年度 町単 軽井沢町共生社会実現推進事業委託

(令和7年4月21日回答)

番号	質問項目	質疑内容	回答
1	仕様書P 2-(1)-④-ア	<p>接遇実践研修及びワークショップの開催 について、ア.接遇実践研修に盛り込む事項として「車いす使用者や視覚障がい者、聴覚障がい者、精神障がい者等、障がいのある方への接遇実践」と記載がありますが、知的・発達障害も盛り込むべき内容に含まれますでしょうか？もし対象外の場合、理由をお伺いすることは可能でしょうか？</p>	<p>仕様書中「～精神障がい者等」と記載し、全ての障がいの種類を列記しておりませんが、この中には知的・発達障がい等、列記されていない様々な障がいを含めております。</p>
2	仕様書P 2-(1)-④-イ	<p>ワークショップに盛り込む事項について、「障がい者当事者によるアドバイス」と記載がありますが、精神障がいや知的・発達障がい当事者の場合、ご自身で発言をすることが難しい可能性がございます。当事者の家族や支援者、ケアワーカーに依頼をすることは可能でしょうか？</p>	<p>当事者のご家族や支援者、ケアワーカーへの依頼は可能です。スムーズにワークショップをすすめるための効果的な方法を企画提案書にてご提案ください。</p>
3	仕様書P 2-(1)-⑤	<p>実施回数(現時点での想定) について、「年間2回(契約後、発注者と要日程調整):目安として各回3時間程度」と記載がありますが、同日ではなく、日を分けて設定するという理解で差し支えないでしょうか？</p>	<p>お見込のとおりです。</p>
4	仕様書P 2-(2)	<p>コミュニケーションボード作成ワークショップの開催について、ボードを使用してのコミュニケーションが想定される対象ペルソナに、聴覚障がい当事者、口語でのコミュニケーションが苦手な方の他に、日本語が母語でない方等も含まれますか？(ボードの選択肢に英語・中国語等の外国語表記が必要かどうか、現段階での想定を伺えますと幸いです)</p>	<p>日本語が母語でない方等も対象ペルソナに含めていただくことで、より実践的なコミュニケーションボードになるかと思っておりますので、効果的なコミュニケーションボード作成について企画提案書にてご提案ください。なお、外国語だけでなく「やさしい日本語」も選択肢の一つと考えています。</p>

5	仕様書P 3-(3)-①	<p>企画・準備 について、「研修及びワークショップの企画にあたっては、参加者の業種、職種が様々である点を踏まえ、誰もが今後の仕事に役立てられる内容とすること。」と記載がありますが、対象のペルソナや優先順位をお伺いすることは可能でしょうか？</p> <p>前年度講座を踏まえると、観光ホテルを営んでおり、会社として社会貢献意識を持ったブランディングにも取り組んでいきたいある程度の規模のあるホテル等が第1ターゲットとなると考えますが、現時点で想定がありましたらお伺いできますと幸いです。</p>	<p>社会貢献意識の高い、ある程度大きなホテル等では、各社で独自に研修等に取り組んでおられることが想定されるため、自社独自ではなかなか取り組めないような中小規模の事業所（宿泊施設、飲食業等）の経営者や社員を第1ターゲットとして想定しています。第2ターゲットとしては、おっしゃるとおり社会貢献意識の高い、ある程度大規模の事業所の社員等を想定しています。</p>
6	仕様書P 3-(3)-③	<p>開催案内チラシ作成及び配布について、「上記以外で、インターネットの活用、広告媒体の活用、各種団体との連携など、研修及びワークショップ参加者の募集に特に効果があると思われる企画提案を実施すること。」と記載がありますが、「広報かるいざわ」や社会福祉協議会の「あったかネットワーク」等の媒体への掲載を提案させていただいても差し支えないでしょうか？</p>	<p>町発行の「広報かるいざわ」や社会福祉協議会発行の「あったかネットワーク」への記事掲載についてご提案いただいても構いません。こうした媒体も含め、その他にも効果的な周知方法について企画提案書にてご提案ください。</p>